



ドラえもん道具編②
～かぜぶくろ～
この中に咳を入れるとす
ぐに風邪を治してくれる

～6年 算数科授業研究会～

金曜日は、6年生の授業研究会でした。嶋田先生、授業を提供して下さりありがとうございました。事後研で話し合われた内容や研修センターの菊池先生のご指導をふまえ、授業の成果と課題についてお伝えいたします。今後の授業づくりに役立てていきたいと思えます。

単元名「比例と反比例」

成 果

- 穏やかに自由に何でも話せる関係が築かれていて、課題にそってそれぞれ意見を出し合っていた。
- 「 x と y の関係を調べる」ことに活動が焦点化されていたので、子どもたちも深く学び、達成感を得られたと思う。
- 既習の表やジャンプ問題など分かりやすかったので、どの子にも有効だった。
- グループごとにボードに考えを書いて黒板に掲示したので、視覚的に分かりやすかった。また、学習の積み重ねができていた。



課 題

- 前時までの比例と本時の表の違いに気づかせることで、これまでの2数の変化とは違う事に気づけたが、それが問題場面とリンク（実感）していたか。
- 4班の表を活用して反比例の変化、特徴を視覚的にしっかり捉えさせ、児童と教師とのやり取りの中でまとめをしたい。



～菊池先生のご指導から～

- ☆ 今求められている資質・能力の育成・・・児童自ら学ぶ姿が求められている。何をどのようにして学んだのか。何を表現できるようになったのかが大事。
- ☆ 異なる考えをぶつけあってこそ、思考が深まる。
- ☆ 発問指示はできるだけ短く。指名は意図的指名が望ましい。
(挙手できなかった児童を見取ることが大事)
- ☆ ゆさぶり、突っ込み、切り返し、挑発、励ましをすることで深い学びにつなげていく。

